

日本にモノづくりを残していけるのか

これからのモノづくりと

経営者へのメッセージ2026尾張

2026/2/17(火)

豊田合成株式会社

エントリオ・尾西工場



今後を担う若手社員にむけた人財育成、ウェルビーイングな取り組み

講演・工場見学会プログラム

10:00～10:05	開会・案内 ○ 集合場所 豊田合成記念体育館 エントリオ (JR東海道本線 稲沢駅より徒歩3分) ○ 受付開始 9:30～ ○ 受付場所 開催2週間前を目安に送付する受付票にてご案内
10:05～11:35	基調講演 モノづくり力向上と人財育成 ～ウェルビーイングな職場づくり～ 豊田合成 株式会社 取締役副社長(代表取締役)、 COO、CMO、総合戦略本部長、自動車事業統括本部長、 カーボンニュートラル・環境推進部担当本部長 (公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 理事) 安田 洋 氏 
11:35～13:00	○ 専用バスにて移動 → 尾西工場へ (12:15ごろ到着予定) ○ 尾西工場到着後 昼食(お弁当をご用意します)
13:00～13:30	具体事例講演 今後を担う若手社員の人財育成と ウェルビーイングな取り組みの事例紹介 豊田合成 株式会社 尾西工場 SS事業本部SS製造部部长 兼 尾西工場長 小川 政弘 氏 
13:30～15:30	工場見学 豊田合成株式会社 尾西工場における もの・人づくり事例の見学 
15:30～15:45	○ 参加者交流・休憩
15:45～16:30	講演者と参加者との質疑応答・ディスカッション
16:30	閉会 ○ バス乗車・尾西工場出発 16:45 ○ 稲沢駅到着・解散 17:15頃

※ プログラム・時間は、現時点の予定です。変更の際は、公式サイトなどでご案内いたします

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

普及推進部 TEL: 0120-451-466 (または03-6865-6081) E-mail: EVENT@jipm.or.jp

日本にモノづくりを残していけるのか

これからのモノづくりと経営者へのメッセージ2026尾張

<https://info-jipm.jp/event/koremono/tfom2026_owari/>

- ◆ 現在、日本の製造業を取り巻く環境は、国内・外の多岐にわたる問題・課題と、それらが複雑化し、簡単には解決できない現状から、「日本にモノづくりを残していけるのか」という危機感が募っています。この日本の状況に対し、これまでさまざまな困難を乗り越え、日本の製造業の発展に貢献してきた実績ある経営者が、「従前の日本のモノづくりを振り返る」とともに、「現在の日本のモノづくりの問題・課題に対する考え方・展望」をお話しいただきます。
- ◆ 現在、モノづくりに携わる人財不足が顕著な日本において、多様な人財が、時間や場所、あるいは体力の制約がありながらも活躍でき、持続可能なモノづくりを目指す取組みが急務となっています。
- ◆ このような状況下において、豊田合成株式会社では、DE&Iの推進やウェルビーイングな職場づくりなど環境変化に対応する取組みを進めています。
- ◆ 今回、この取組みを同社 取締役副社長 安田 洋氏に基調講演としてご講演いただき、さらに具体的な取組み事例を、尾西工場長 小川 政弘氏に講演と工場見学をとおしてご紹介いただきます。
- ◆ また、参加者と講演者のディスカッションを設け、参加者の交流を深めていただく企画となっています。

基調講演

モノづくり力向上と人財育成

～ウェルビーイングな職場づくり～

豊田合成 株式会社 取締役副社長(代表取締役)、
COO、CMO、総合戦略本部長、自動車事業統括本部長、
カーボンニュートラル・環境推進部担当本部長
(公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 理事)

安田 洋氏



日本(自動車業界も)は、高齢化と若手の製造業離れによる人財不足に直面しています。このような状況下で、DE&I(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)を推進し、ウェルビーイングな職場や工程を構築することが不可欠です。また、環境変化、量変動に対応するため、生産・生産準備のL/T短縮が重要となっています。これらの変革を支える若手社員の早期育成と、チャレンジ意欲の醸成に向けた取組み内容をご紹介します。

経歴

1982年4月	豊田合成株式会社 入社
2012年6月	豊田合成株式会社 執行役員
2016年6月	豊田合成株式会社 取締役・常務執行役員
2018年6月	豊田合成株式会社 取締役・専務執行役員
2019年6月	豊田合成株式会社 取締役・執行役員
2023年6月	豊田合成株式会社 取締役副社長(現任)

具体事例講演

今後を担う若手社員の人財育成と

ウェルビーイングな取組みの事例紹介

豊田合成 株式会社 尾西工場 SS事業本部SS製造部部长 兼 尾西工場長

小川 政弘氏



製造業が直面する人手不足の課題に対し、若手および多様な人財が能力を最大限に発揮できる職場環境の整備、早期人財育成の推進、そして従業員のウェルビーイングを実現するための具体的な取組みをご紹介します。

経歴

1990年4月	豊田合成株式会社 入社
2005年4月	豊田合成ハイフォン(有) 出向
2010年1月	豊田合成株式会社 SS製造部 課長
2014年2月	豊田合成(張家港)科技有限公司 出向
2017年1月	豊田合成(張家港)科技有限公司 総経理
2021年1月	豊田合成株式会社 SS製造部部长 兼 尾西工場長



工場見学

豊田合成株式会社 尾西工場における もの・人づくり事例の見学

- ◆ 本企画には、工場見学がございます
- ◆ 講演いただいた具体的な活動をはじめ、さまざまな取り組みを紹介いただく企画となっております

豊田合成株式会社 尾西工場について

- ◆ 豊田合成 尾西工場は1982年に設立され、セーフティシステム製品や内外装部品の主要生産拠点として、地域とともに発展してきました。
- ◆ 尾西工場は、愛知県一宮市に位置し、エアバッグなどのセーフティシステム製品やラジエータグリルなどの内外装部品を製造する重要な拠点です。1982年の設立以来、豊田合成の製造力を支える中核工場として機能してきました。
- ◆ 2012年には設立30周年を記念し、「環境」「防災」「地域交流」をテーマにしたイベントを開催。地域住民や従業員とその家族約800名が参加し、植樹や工場見学、防災体験などを通じて、地域とのつながりを深めました。
- ◆ また、尾西工場では毎年11月第2日曜日を「みどりの日」と定め、地域の環境保全意識の向上を目的とした活動を継続しています。CSR活動の一環として、地域祭り「びさいまつり」への参加や献血活動なども行っており、地域に貢献しています。
- ◆ 工場の敷地面積は約97,000㎡、建物面積は約37,000㎡。2012年時点の従業員数は約765名。売上高は449億円（2011年度）。

※ 参考情報：豊田合成株式会社 公式サイト

誰もが働きやすい工程づくり

従来の作業工程では立ち作業が主流でしたが、高齢者や妊娠中の従業員にとっては身体的負担が大きいという課題がありました。この問題をエルゴノミクスを取り入れたダイバーシティラインを導入。立っても、座っても仕事ができる工程を実現しました。



安全・品質を支える教育の場「学び舎」

人手不足が深刻化する中、新入社員だけでなく派遣社員や期間社員など、多様な人財を工場に受け入れる機会が増えています。そこで、安全・品質・作業について同レベルの知識を習得し、教育の質を均一化することを目的として、「学び舎」を設置し、繰り返し学習を行っています。



- ◆ 集合場所は、**豊田合成記念体育館 エントリオ** です。
(JR東海道本線 稲沢駅より徒歩3分)

- 受付時間は、**9:30～**となります
- 豊田合成株式会社 尾西工場からの参加(具体事例講演・工場見学・ディスカッション)はできません。
- 注意事項の詳細は、別途ご案内する受付票にてお知らせいたします

- ◆ 工場見学時の服装について

- **帽子**
- **長袖/長ズボン(スーツ可)**
- **安全靴**

※ 半袖やスカートなど肌が露出する服装はご遠慮ください

- ◆ 本イベント参加中は、喫煙できません。あらかじめご了承ください

◆お申込み方法

お申込みは、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会ホームページ内イベントサイトよりお申込みください

https://info-jipm.jp/event/koremono/tfom2026_owari/



お申込みは、**2026年1月16日(金)** 締め切り

※ ただし、**お申込み多数の場合は、締め切らせていただきます**ので、お早目のお申込みをお願いいたします

- お申込み窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記WEBサイトよりお申込みください。
※ FAXでのお申込みはできません
- お申込みの際は、お申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込みください
- 開催日2週間前より、お申込み窓口ご担当者あてに請求書を送付(メール)いたします。2025年1月末日までに、請求書に記載の銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定
開催当日～7日前の参加取消し：参加料全額
※ 2026年2月10日(火)よりキャンセル不可となります
※ キャンセル・変更は、以下URLよりお願いいたします。
<<https://info-jipm.jp/contact/>>
お問い合わせ>イベント申込み後のお問い合わせ

- 個人情報に関する取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、当イベントの運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ(<https://www.jipm.or.jp/>)をご覧ください

◆参加料(税込み、昼食・テキスト・バス代含む)

会員価格※1

¥44,000-/名

一般価格

¥56,100-/名

TPM経営者懇話会会員※2

ご招待

会員以外の方は、
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

- 参加料には、昼食・テキスト(資料)・バス代が含まれます
- ※1) 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会(正会員・事業所会員)、もしくは一般社団法人日本能率協会(法人会員・協賛団体会員)の会員であることが必要です

会員ご入会の有無は、下記WEBサイトにてご確認ください
・ 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>
・ 一般社団法人 日本能率協会
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2) TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 経営者懇話会の会員であることが必要です
TPM経営者懇話会会員の詳細は、下記をご参照ください

● 免責事項

天災地変や伝染病の流行、イベント会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由によりイベント内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます

TPM経営者懇話会 会員募集のご案内



- 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会では、経営者・経営幹部の皆さまへ、最新のTPM活動の内容や、設備管理、人材育成に関する情報を発信する「TPM経営者懇話会」会員制度がございます
- 上記の情報発信のほか、**当会開催の各種イベントに無料でご招待する特典**もございます
- ご興味ございましたら、まずは下記のお問い合わせ先までご連絡ください。お待ちしております(TEL:0120-451-466(または03-6865-6081))
- 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
正会員・事業所会員企業の方:38,500円[税込み]
会員外企業の方:77,000円[税込み]



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

普及推進部 TEL:0120-451-466(または03-6865-6081) E-mail:EVENT@jipm.or.jp

日本にモノづくりを戻していけるのか

これからのモノづくりと経営者へのメッセージ2026

尾張

<https://info-jipm.jp/event/koremono/tfom2026_owari/>

